



心がっぱい  
朝日町ボランティア  
マスコット  
ハートフルちゃん

# ハートフル通信

編集・発行  
朝日町社会福祉協議会  
富山県下新川郡朝日町泊418  
tel.0765-83-0576  
fax.0765-83-1589  
http://asahiwei.com

オール朝日町で支える 安心生活のまちづくり(町社協の基本理念)

趣味を広げるお手伝い



パソコン講師ボランティア

(左) 大平 與一さん  
(中) 大久保 長具さん  
(右) 建部 民弘さん



私たちはパソコン交流サロンで講師をしています。受講者の皆さんに取り組んでもらう問題(チラシ作成等)を考え、パソコンの操作を教えています。パソコン交流サロンは、7年前に設立されました。交流サロンという名前だけあって、受講者の皆さんは交流を深めながらパソコン学習をしています。講師として心がけていることは、完成したチラシ等の作り方を、受講者の皆さんに説

明してもらおうようにしていることです。人に操作を教えることでパソコンの使い方が身についていきます。パソコンを使いこなせると、段々と楽しくなってくるので、皆さんにもその楽しさを体験してもらいたいと思います。



講師の皆さんは親身にパソコンの使い方を教えてくれます。

皆こい来い 読み聞かせ



朝日町読み聞かせグループ

(左) 田畑 林弥さん  
(中) 塚田 吉彦さん  
(右) 田中 秀夫さん

田畑さんにお話を伺いました。私が絵本を読み聞かせるようになったのは、孫の誕生日がきっかけです。毎週のように図書館から、たくさん絵本を借りてきては読み聞かせました。絵本は大好きな孫との最高のコミュニケーションツールでした。今、私たちは第1と第3土曜日に朝日町図書館で読み聞かせをしています。読み聞かせには保育園児から小学生までたくさん



絵本「ながーいおはなのフタくん」はフタの鼻が飛び出したり仕掛けがある絵本です。田畑さんはやさしく子どもたちに語り掛けます。子どもたちは、飛び出す絵本を見て喜んでいました。絵本の読み聞かせは、第1・第3土曜日11:00~です。

んのお子さんが来られますが、お母さんに抱っこされた赤ちゃんが、絵本をじっと見て、聞いて感動します。絵本は素晴らしい魅力を持っています。子どもにとって絵本という空想の世界の中で遊ぶことは、心を豊かに成長させるために大切なことだと思います。

ボランティアをしているのは女性ばかりで、なんとなくやりにくいなあ...と思っている男性の方はいませんか? 朝日町でも特技や個性を活かしたボランティア活動をしている男性の方々がおられます。肝が据わっており、たくましく!カッコいい男性陣。男性のみならず!特技を眠らせておくのはもったいないです!今こそボランティアをしてみませんか?

特集

イクメン 男性 × ボランティア  
真のやさしさはここにある。

今後、参加してみたいと思う社会貢献活動(上位10位)

今後、参加してみたいと思う社会貢献活動を聞いたところ、「募金」(38.3%)が最も高くなりました。男女別にみると、「被災地でのボランティア」(男性13.2%、女性10.8%)では男性のほうが高くなりました。

引用: 大和ネクスト銀行 社会貢献に関する調査2018



助けられる人から 助ける人へ

防災士  
植木 久市さん



6年前から宮崎地区自治会の役員になりました。その際に、東日本大震災のような災害が起こったら、宮崎地区はどうなってしまうのだろうか?避難はどうすればいいのか、また、避難所をどうやって

運営すればいいのか、そんな不安を抱えました。2年前に防災士となり、現在は、地区へ出向き、防災士会メンバーと防災についての啓発活動を行う他、防災に関する研修会に参加しています。今後は、避難所の運営マニュアルや自主防災組織の確立に向けて、また、福祉避難所についても体制を整備していきたいと考えています。皆さんと共に考えていきたいと思っています。



避難所の設置模擬訓練。非常時の対応について参加者と共に考えます。

誰かが担わなくては! と思い

運転ボランティア  
小林 栄さん



2年前から冬季入浴送迎サービス等の送迎をしています。もし、運転ボランティアがいなくなったら困る人がいる。そう考えると、誰かが担わなくてははいけないと気づき、運転ボランティアをすることにしました。車の運転なら運転免許証があればボランティアができます。送迎中は利用者の方との会話も楽しんでいきます。



紙面の関係上、限られた方しかご紹介できませんでしたが、その他にも、大勢の男性ボランティアが朝日町で活躍されています。今後もハートフル通信で紹介していきますので、楽しみに!

▶裏面はボランティアグループの紹介





ボランティア

## ボランティア グループ紹介

新たに3つのグループが登録!

代表の道用裕志さんから

お話を伺いました。



道用さんのご家族ユニット  
アンサンブル・ド・ヨール

トランペットやバイオリン、ピアノといった楽器でクラシックや童謡、歌謡曲を演奏しているボランティアグループです。これまで、魚津市や黒部市を中心に活動してきましたが、地元朝日町に恩返しをしたいという思いから、ボランティア登録をしました。週末に活動していますが、ぜひ演奏を聴きたい方は声をかけてください。



金管楽器の五重奏  
ジェイド・プラスアンサンブル



トランペットとピアノによる  
アンサンブルDITテンジン

●問い合わせ  
朝日町ボランティアセンター  
☎ 0765-83-1002

### ハートフルちゃんのひとりごと

これまで、宇奈月モーツァルト音楽祭やコーレ24時間ぶっとおしライブで演奏してこられたそうです。

「地元朝日町に恩返しをしたい」と熱く語っていただきました。

第1回朝日ふくしフェスティバルでは、ジェイド・プラスアンサンブルが出演予定です。



おとなりの  
うめちゃん

うん。災害ボランティアとして被災者の掃除をしたよ

うめちゃん、ボランティアしているの?

うめ

ジョージ

困っている人を助けたかったの、社会や人のためになることをしたかったの

なんでボランティアしたの?

ボクは病院の案内ボランティアをしているよ。ボクは喜びや成就感が得られるからボランティアをしているんだ!! Why!?

ボランティアは人生を豊かにしてくれる!!

アメリカではみんな日常的にボランティアしているよ

日本は、社会や誰かのために...

アメリカは、自分たちの生活に、関わりを持たせるために...

ボランティアに対する意識の違いがあるのかもね

### 開催決定 第1回朝日ふくしフェスティバル

日時：令和元年10月19日(土)  
10:30~16:00  
会場：朝日コミュニティホール  
アゼリア

「朝日町社会福祉大会」と「朝日町ボランティアフェスティバル」を同日に開催することから、「朝日ふくしフェスティバル」としてイベント名を改め開催いたします。新たなコーナーもございますので、みなさまのご来場をお待ちしております。

参加者  
・ボランティアに興味・関心がある方  
・ボランティアとして活動している方

申込方法  
朝日町ボランティアセンターへ申込み

申込締切  
令和元年8月29日(木)

問い合わせ・申込み先  
朝日町ボランティアセンター  
☎ 0765(83)1002



### 募集!

おしゃべりカフェ  
ボランティアについて  
一緒にお話をしませんか?

「ボランティアってどんなことをすればいいの?」「他の方はどんな活動をしているの?」など、気になることを持ち寄って、お話をしませんか?



## 朝日町社会福祉協議会 賛助会員 募集中!

賛助会員とは、朝日町社会福祉協議会の理念や事業に賛同し、財政面から支えていただく『社協のサポーター』です。

「地域のために何かしたい」「活動する時間はあまりないけれど、力になりたい」という町民の皆さまのあたたかい心をぜひお寄せください。

会費を納めていただくことが、会員としての活動(協力)であり、それが地域福祉を推進する大切な財源となります。会費は、ふれあい・いきいきサロンや高齢者世帯等の見守り、声掛け活動やボランティア活動者への支援、介護自動車の貸出等の事業に使わせていただきます。

なお、会費の納入をもって入会手続きとさせていただきますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

入会いただいた方には、粗品をプレゼント!

#### 【会費】

1,000円(一口)/年額

#### 【入会方法】

朝日町社会福祉協議会の窓口にて会費を納入。

\*開所時間 平日8時30分~17時15分まで

#### 【問い合わせ】

〒939-0741 朝日町泊418  
五叉路クロスファイブ2階  
朝日町社会福祉協議会  
TEL 0765-83-0576

## ひろがれ!サロンの輪



笹川地区

この日は、小川温泉元湯へ「お出かけサロン」に出かけました。この「お出かけサロン」は年間2回(6月・10月)開催しています。毎回、約30名が参加されます。参加者の皆さまは、車内からおしゃべりに夢中です。小川温泉では、ゆったり温泉に入ってから昼食をいただきます。その後は、大好評のゲーム大会です!「名前ビンゴ」や「数当てゲーム」では、楽しい景品が待っているの、皆さん真剣です。笑いの絶えない楽しい「お出かけサロン」でした。

### 編集後記

男性ボランティアの皆様に取材を依頼すると、快く取材を受けてくださいました。そして、自ら原稿を書いてくださる方もおられ、ボランティアの皆様と共に「ハートフル通信」を制作できました。今回の取材を通じて男性ボランティアの懐の広さ、たくましさを感じました。(濱田)

